



【プロフィール】
 こうさい のぶゆき
 昭和26年、札幌市に生まれる。札幌市と栗山町を拠点に、海外にも多くのファンを持つ。現在67歳。ホームページにも最新情報を掲載している。(http://momijigama.jimdo.com/)

陶芸の唯一の伝承者
香西 信行 さん

町内御園地区の丘陵地帯に穴窯を構えて約23年となる陶芸家の香西信行さん。町内でも数少ない陶芸家としての人生を振り返ってくれました。

昔ながらの技術を現代に

香西さんは札幌市厚別区に窯を構えていた平成4年に個展を初開催。その後、昔ながらの穴窯の技術を現代に復活させようと、平成7年、町の離農跡にれんが造りの穴窯を築きました。現在も滋賀県の信楽地方で続く技法を独学で取り入れ、茶道具などを数多く製作しています。

世界に活躍の場を広げて

平成10年から9年間、北海道陶芸会の副会長と事務局長を兼任していた香西さん。平成12年には道銀芸術文化奨励賞を受賞すると、平成15年には北海道大滝陶芸展大賞を受賞、

平成17年に全陶展にも入選し、活躍が認められました。その後、平成17年に全米での個展、講習会の活動を開始。フランスやスウェーデンなど、世界的に活躍の場を広げています。

11月1日から3日間、町民に見てもらおうと、23回目となる個展をカルチャープラザで開催。今後の抱負を聞くと「できる限り多く



北海道胆振東部地震を乗り越えた作品が並ぶ

の方に作品を見てもらうために、一日でも早く地震の影響で損傷した穴窯の復旧をしたい」と話していました。

【問い合わせ】

もみじ窯 ☎ 090-3110-5286

▼先月、スポーツセンターで行われた全町卓球大会に参加してきました。年の離れた愛好家から同世代の青年たちまで、試合に白熱しつつ、楽しみながらプレーしました。終わってみれば、個人・団体で優勝。学生時代は、ただ強くなりたいたい、がむしろに部活に励んでいた頃を懐かしく思う一日でした。今回マナビイに掲載した栗つ子アスリート特集の記事を編集していると、スポーツを頑張っている子どもたちの姿をとてもうらやましく思っていました。(伊藤)



▼10月下旬頃から町内に3羽の鶴(タンチョウ)を見かけたとの連絡がありました。タンチョウといえは隣の長沼町の方が有名ですが、本町への飛来は比較的珍しいことから、実際に現地に向かい、撮影してきました。ご連絡をいただいた方、ありがとうございました。(田畑)

編集担当者のひとりごと